

中期的な目標

【持続】50年後・100年後も持続可能な水道システムを構築する

【安全】気候変動等に適切に対応し安全な水道用水を供給する

【強靱】災害等に対して強靱な施設と組織を構築する

施設の適切な維持・更新

《重点施策》  
施設能力の確保

- 主要事業
  - ・海水淡水化施設の設備更新
  - ・牛頸浄水場の改良・更新

《重点施策》  
維持管理の強化

- 主要事業
  - ・水質管理機能の強化

適切な維持管理、環境変化等に対応できる体制の充実

- 水道施設台帳システムを利用した適切な維持管理と効率的な施設更新
- 「水安全計画」に基づいた水質管理と残塩低下事象等対応マニュアルの継続的な検証

災害に強い施設と体制づくり

《重点施策》  
耐震機能の強化

- 主要事業
  - ・管路の耐震化
  - ・福岡導水施設地震対策

体制づくり

- 業務継続計画（BCP）の風水害編の策定
- 非常時を想定した訓練の実施

《重点施策》  
地球温暖化対策の推進

- 「地球温暖化対策実行計画」の策定
- 設備更新にあわせた省エネ機器の導入
- 再生可能エネルギーの導入に向けた検討

《重点施策》  
健全経営の維持

- 財政収支計画に基づく計画的な財政運営
- 海水淡水化施設更新における新技術導入等によるコスト削減

「企業団設立50周年事業」を通じた取り組みの強化

構成団体との連携強化

- 水道用水の安定供給、水質の向上に取り組む
- 企業団の水運用方法を整理し、各団体と共有することによる「柔軟な水融通」等の実現
- 会議等における情報提供、情報収集を通じた構成団体との相互理解の向上
- 水質センターの福岡都市圏の共同センターとしての機能継続

設立50周年(R5. 6. 1)  
記念事業の推進

- ☆目的
  - ・都市圏の特殊な水事情への理解促進
  - ・水源地域への感謝の気持ちの醸成

- ☆各種事業
  - ・市民への体験機会の提供
  - ・市民・他団体との連携強化

- ・効果的な情報発信
- ・交流事業、水源水質の保全活動の推進

- SNSや学生等との連携による効果的な情報発信
- 50周年事業について構成団体と共通理解を深め、構成団体を通じて広く情報発信を行う
- 森林保全や河川美化活動への参画と水源地域との交流

人材育成・活性化、コンプライアンス

- 50周年事業などを通じて職員間のコミュニケーションの活性化を図り、企業団の使命などの共有を推進し、風通しの良い組織づくりとコンプライアンスの醸成を図る
- 研修実施や外部研修への積極的な受講促進